



I am the resurrection and the life

主の復活をお祝いするイースターに向けて、
主の受難を偲びつつ四旬節を過ごしていきましょう。

今年は、3月9日に「灰の水曜日」を迎えました。
「荒布をまとい、灰をかぶる」ことは、悔い改めや深い嘆きのしるしとして古くから行われてきました。この灰は前の年の「枝の主日」に用いた棕櫚の葉を焼いたものです。

この日から「四旬節、受難節、レント」と呼ばれる主イエス・キリストの受難を覚える季節に入ります。この季節はイースター（復活祭）の前の、六つの主日を除く40日間です。（「四旬」とは「40日」を意味し、この期間の主日を除いているのは、イエス・キリストの甦られた復活を祝って礼拝する日が主日だからです。）この期間はもともと洗礼志願者達が信仰の教育や訓練を受ける期間でした。ですから今でも教会ではこの期間に特別祈りに集中する時を持っています。主イエスが祈りに専念されたように、イエス・キリストの思い、苦しみを祈りのうちに偲びつつ、キリストの復活を祝うイースターを迎えるまで共に祈りましょう。

今年は下記のように聖週間、そしてイースターの礼拝を計画しています。この特別な期間に皆様とご一緒に主の十字架と復活を覚えての礼拝を守ることができるように願っています。

4月21日（聖木曜日）午後12時より「**過ぎ越しの食事礼拝**」（日英両語*要予約）

4月24日（日曜日）午前11時 **イースター聖餐礼拝**

特別讚美：ソプラノ 波多江美代子、朗読 金瀬照子
（水野源三作詞 川口耕平作曲）

復活ルーテル教会日本語部 (714)964-1912

Lutheran Church of the Resurrection

9812 Hamilton Avenue

Huntington Beach, CA 92646-8014

主任牧師： Carl E. Zimmermann

日本語部牧師： 岸野 豊

Home Page: lcrjm.com